

めぐりと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com

今号では、町が進める循環型まちづくりの一環として、循環型エコプロジェクト推進事業の中から市民が取り組んでいる「使用済み食用油の回収からBDFの製造」、「段ボールコンポストの普及」、「ペットボトルキャップの回収からリサイクル商品へ」の紹介をします。

◆循環型エコプロジェクト推進事業とは

二酸化炭素の排出量削減の取組みに応じて、町が「エコbeeクーポン」という商品券を発行し、町内の「エコショップしわ認定店」でその商品券を使ってもらうしくみの事業です。

※取組みを行う際には、申請や登録が必要なものがありますので、下記にお問い合わせください。

紫波町産業部環境課 循環政策室 TEL 019-672-6892 (直通)

〇〇〇使用済み食用油の回収からBDFの製造〇〇〇

町では、家庭で発生した使用済みの食用油を回収し製造業者（紫波環境（株））まで運び込む団体に対して、クーポン券を交付しています（回収場所は下記参照）。製造業者に運ばれた油から、「BDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）（※1次頁）」という軽油の代替燃料を製造し、トラックや乗用車、重機等で利用されています。

使用済み食用油の出し方



（※2）食用油の入っていたプラスチックボトルが望ましいですが、洗剤を使わずに良く洗った500mlのペットボトル（スポーツドリンク以外）でも回収可能です。

【回収場所】（使用済み食用油の回収を行う団体には20ℓごとに500ポイントが交付されます）

中央公民館・長岡公民館・赤石公民館・町環境循環PRセンター・古館産直センター・彦部公民館・大地町公民館・佐比内公民館・吉水自治公民館・水分公民館・志和公民館・赤沢公民館

その他連絡をいただければ、各家庭に回収にいきます。紫波環境（株）電話 019-672-2656

【回収できない油があります】※BDFの製造に適さないため

動物性油脂（バター、ラード、ヘット、加工油等）、植物油の一部（パーム油、ヤシ油、カカオ油等）、常温で固まっている植物油脂（ショートニング、マーガリン等）、鉱物油、化学合成（重油、灯油、ガソリン、エンジンオイル）

（※1）BDFは地球温暖化防止に役立ちます。ディーゼル車などに通常の化石燃料を使用すると単純に地球上にCO₂を吐き出し、地球温暖化の原因の一つになっていますが、BDFは元々CO₂を吸って育った植物性の食用油が原料で、植物は光合成でCO₂を吸収しているため、燃焼により生じるCO₂とプラスマイナス「0」と算出されます。

以前、菜種を栽培する農家などで自家生産された菜種油を農耕機械の燃料として使っていた時代がありました。BDFは地域で自給できる古くて新しいバイオエネルギーなのです。



〇〇〇段ボールコンポストの普及〇〇〇

町では今、生ごみを分別回収（一部地域を除く）しています。以前は、生ごみも燃やせるごみと一緒に出すことができましたが、生ごみは水分が多いので燃やすためには多くの燃料がかかること、また燃やせるごみそのものを減らすためにも分別をしています。循環型エコプロジェクトでは、その生ごみを減らすために段ボールを使った堆肥づくりの普及を行っています。

段ボールコンポストってなに？

段ボール箱の中に生ごみを分解させるための基材（ピートモス・もみ殻くんたん・米ぬか・えこ3堆肥）を入れ、その中に家庭から出る生ごみを入れ、堆肥を作るものです。

外から菌を入れるのではなく、野菜くずや基材に付着している様々な微生物が自然に生ごみを分解して堆肥にするしくみです。段ボールを容器として使うことによって、生ごみの水分を蒸気として抜き出す効果と中の微生物に酸素を供給して生ごみを分解する効果があります。日常の手間は生ごみを入れてかき混ぜるだけです。約3か月で堆肥になりますので、畑や花壇、プランターに入れ、野菜や花を育てることができます。



【問合せ】

段ボールコンポストに関すること

環境課 生活環境室 ☎672-2111（内線 3523）



生ごみは三角コーナーではなく、ザルに取り、水分を減らしています。



生ごみを投入し、手前のシャベルでかき混ぜます。



タオルをかけ、完成！

平成22年度から紫波町ごみ減量女性会議が中心となり、段ボールコンポストの普及活動をしています。利用者からは「生ごみとして集積所に出す量が減って楽になった」「入れた生ごみがどんどん消えていくから、毎日様子を見ながらかき混ぜるのが楽しい」「臭いも気にならない」などの声が寄せられています。

同会議では、すぐ始めることができるように、段ボールと基材、シャベルを1セットにした「段ボールコンポストキット」を800円で販売しています。(シャベルなしだと700円)
※購入した個人には、1基ごとに500ポイントが交付されます。

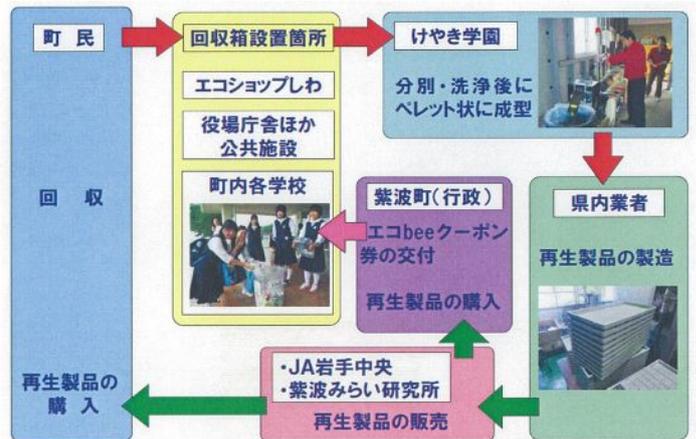
段ボールコンポストキット取扱い場所

紫波みらい研究所（紫波中央駅北側）、環境課

〇〇ペットボトルキャップの回収からリサイクル商品へ〇〇

町では、ペットボトルキャップのリサイクル事業に取り組んでいます。ペットボトルキャップは回収しやすく、素材としての純度が高いことから、良質な資源として有効活用されています。無機資源であるペットボトルキャップの回収と、再生産の流れを創る取組みによって町民一人ひとりの資源循環とごみ減量についての意識を高めることがこの事業の目的です。

専用の回収箱を町内の学校やエコショップしわ認定店等に設置し、主に家庭から排出される使用済みのキャップを回収します。その後、町内の障害者授産施設利用者によって汚れの少ないものだけに選別され、素材ごとに分別、洗浄後粉碎、さらにペレット製造機でペレット化されます。ペレット化されたキャップは、県内の再生工場に送られ、プラスチック再生製品の原材料となります。紫波町では、この原材料を使いプランター等に再生され、販売されていますので、県内におけるクローズドリサイクルとして完成しています。
※町内各学校には、ペットボトルキャップ10kgごとに500ポイントが交付されます。



ペットボトルキャップ循環の取組み



ペットボトルキャップの回収箱



キャップ回収の際、下記のような異物が混入していることがあります。ペットボトルのキャップのみの回収です。ご協力をお願いします。



混入された異物の例



プルトップ



ライター



缶のフタ



電池

赤石公民館にペットボトルキャップの回収箱が設置されました！

赤石公民館では昨年、放課後こどもクラブ主催で、ペットボトルキャップやごみ分別に関する環境学習を行い、その中で、町内で取り組んでいるペットボトルキャップリサイクルの仕組みを知り、様々な人が集まる公民館にも回収箱を置いてみることにしたそうです。

すると、小中学生のいない世帯の公民館利用者から、「学校に届けることが出来ず困っていたけれど、これからはいつでも公民館に持ってくればいいので助かる」といった声が多く寄せられているそうです。子供たちの学習の機会から、循環の輪が広がりました。この輪がさらに各地区に広がっていくといいですね。



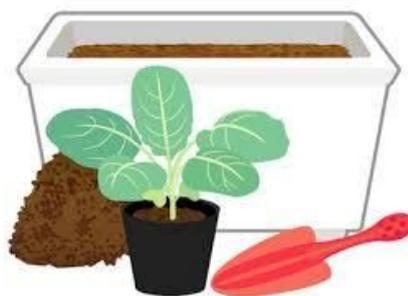
お知らせ！

ペットボトルキャップを再生したプランターで野菜づくりを体験するイベントを、紫波みらい研究所で5月に開催する予定です。

例えば、レタス、ミニトマト、少し頑張ればきゅうりもできるかも・・・。

お家で食べたい野菜を今年はプランターで挑戦してみましよう！

紫波ネット・チラシ等でご案内しますので、少しの間、お待ちください。



詳細は、本研究所まで ☎ 671 - 2244

めぐりっと紫波は、紫波町産業部環境課の委託で発行しています。